

守谷市の道徳教育

1 守谷市の道徳教育が目指すもの

 守谷市きらめきプロジェクトテーマ 「自分らしく輝いて生きる人づくり」

目標 確かな学力・豊かな心・健やかな体をはぐくみ、将来の夢に向かって
努力できる児童生徒の育成

守谷市の子どもたちが、多様化する社会状況に対応し、たくましく生き抜いていくために必要な力とは…

① 自らの価値観を形成し、人生を充実させていく力。

= 人生を主体的に生きようとする力。

自分自身

② 国家・社会の持続可能な発展を実現していこうとする力。

= 社会に主体的に参画していく力。

他者

社会

①と②の基盤となるのが…

「人間教育の普遍的、
中核的な構成要素」

「道徳性」(豊かな心)

「道徳教育」で育む

全ての教育活動において

家庭

保

幼

小

中

高

地域
守谷市

「つながり」を意識して

道徳教育の要である
「道徳の時間」を充実させていく。

 守谷市 道徳教育目標：「共に生きる」

思いやりの心を持ち、個性を尊重し合いながらよりよい生き方を
目指すことのできる児童生徒の育成



2 守谷市道徳教育推進委員の役割及び活動内容

(1) 道徳教育推進委員の2つの役割

① 守谷市の『推進委員』として

・ 守谷市独自の保幼小中高一貫教育に根ざした道徳教育の在り方を考え、推進していく。

計画を作成する
ねらいとは…

具体策1：各中学校区による『守谷市 ○○中学校区 道徳教育計画』の作成。
具体策2：一貫教育に根ざし、系統性を意識した「道徳授業」の開発及び提案。

② 各校の『道徳教育推進教師』として

・ 各校における道徳教育のさらなる充実を目指す。

各校道徳教育の「リーダー」
＝「道徳教育推進教師」

具体策3：道徳教育の質の向上を目指した「校内研修」の実施。
具体策4：各校での研修内容の紹介及び情報交換。

3 守谷市道徳教育目標との位置づけ

小学校道徳教育目標（学習指導要領）

道徳教育の目標は、第1章総則の第1の2に示すところにより、学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うこととする。

道徳の時間においては、以上の道徳教育の目標に基づき、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、深化、統合し、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、道徳的実践力を育成するものとする。

中学校道徳教育目標（学習指導要領）

道徳教育の目標は、第1章総則の第1の2に示すところにより、学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うこととする。

道徳の時間においては、以上の道徳教育の目標に基づき、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、深化、統合し、道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成するものとする。

茨城県 道徳教育の重点

- 美しいものや自然に感動する心などの柔らかな感性 ○正義感や公正さを重んじる心
- 生命を大切にし、人権を尊重する心などの基本的な倫理観 ○自立心、自己抑制力、責任感
- 他者との共生や異質なもののへの寛容 ○他人を思いやる心や社会貢献の精神

【目指す児童生徒像】

小学校：基本的な生活習慣、善悪の判断、自主性、協力し助け合う態度、自立心などを身に付けた児童

中学校：規律ある生活をし、自分の将来を考え、絶えず向上していこうとする生徒

【育みたい大切な心】

本県資料『豊かな心の育成に向けた事業と「はぐくみたい心」』より

きまりやマナーを守る心、たくましい心、生命を大切にする心、社会の発展に貢献する心



守谷市 道徳教育の目標

「共に生きる」

思いやりの心を持ち、個性を尊重し合いながらよりよい生き方を目指すことのできる児童生徒の育成



守谷市 道徳教育の重点

思いやり 生命尊重 自主自律・責任 公徳心

4 本年度の取組

(1) 推進委員会における「道徳教育の動向」に関する研修（指導室 道徳教育担当が資料作成、伝達）

回	開催日	協議内容	伝達内容及び校内研修用配付資料
1	6月 23日(月)	守谷市の道徳教育が目指すもの	① 守谷市道徳教育目標、中学校区教育計画作成のねらい
市教研	8月 5日(火)	これからの道徳教育を考える	① 道徳の時間の充実を図るために ② ねらいと発問の捉え方 ③ 『わたし（私）たちの道徳』を活用した授業づくり
2	8月 28日(木)	「守谷市道徳教育計画」作成（進捗状況及び検討事項）	① 「特別の教科 道徳（仮称）」への構え ② 『わたし（私）たちの道徳』生かすために
3	10月 6日(火)	提案授業に向けた指導案の検討	① ねらいを明確に表す守谷市道徳指導案の形式
4	12月 1日(月)	御所ヶ丘中学校区提案授業 1-(2)『ハチドリの一としくずく』	① 「しなやかな授業づくりへの創意工夫」を考える（提案授業、グループ協議をふまえて）
5	2月 19日(木)	課題解決型ミーティング 一来年度、私の学校ではー	① 総復習「道徳の教科化」に向けて、今何をすべきか

(2) 守谷市中学校区道徳教育計画 (愛宕中学校区)

守谷市 愛宕中学校区 道徳教育計画 平成27年度						
守谷市 道徳教育目標	思いやりの心を持ち、個性を尊重し合いながらよりよい生き方を目指すことのできる児童生徒の育成					
愛宕中学校区 道徳教育目標	思いやりと感謝の心をもって、共に支え合い助け合うことのできる児童生徒の育成					
各校 道徳教育目標	(1) 望ましい生活習慣を身に付け、誠実に生きていこうとする子供を育てる。(2) 思いやりと感謝の心を持ち、共に支え助け合うとする子供を育てる。(3) 自他の命の大切さを知り、よりよく生きようとする子供を育てる。(4) 社会の一員としての自覚を持ち、みんなのために役立とうとする子供を育てる。(守谷小) (1) 思いやりと自他の生命を大切にすることを心持ち、よりよく生きようとする子どもを育てる。(2) 基本的な生活習慣や社会性を身に付け、進んで公共のために活動する子を育てる。(3) 自信理解を深め、集団におけるよりよい人間関係を築ける子どもを育てる。(郷州小) (1) 礼儀正しく、明るい挨拶ができる生徒の育成 (2) 自らを律し、正しく判断し行動できる生徒の育成 (3) 豊かな感性と温かい人間性をもつ生徒の育成(愛宕中) 本計画＋各校の別業を活用 することで、学校教育全体で 行方道徳教育が具現化されます。					
実施月	重 点	小 学 校	中 学 校	特別活動	守谷しぐさとの関連	
4月	1-(1) 基本的な生活習慣	低 るべ どうしたの(私)	朝のうた(学)	入学式 新入生歓迎会 学級開き 家庭学習の手引き	あじみそ運動	
		中 少しだけなら(私)	2 小さなこと(あ)			
		高 流行おくれ(東書)	3 人に迷惑をかけないということ(学)			
5月	小4-(1) 規則尊重・公德心 中4-(1) 法の遵守・権利義務	低 黄色いベンチ(私)	1 傘の下(学)	運動会(小) 避難訓練 修学旅行(中3) 交通安全教室	時どろぼう	
		中 雨のバスの停留所で(私)	2 闇の中の炎(読み物資料)			
		高 きまりは何のために(私)	3 二通の手紙(私)			
6月	3-(1) 生命尊重	低 ハムスターのあちゃん(私)	1 TSUBASA(学)	縦割り活動 交通安全教室 避難訓練		
		中 ヒキガエルとロバ(私)	2 奇跡の一週間(東書)			
		高 その思いを受けついで(私)	3 キミばあちゃんの椿(私)			
7月	1-(3) 善悪の判断・勇気 自由・自律・責任	低 ぼんたとかんた(私)	1 裏庭の出来事(学)	大掃除 情報モラル講習会(中) 職場体験学習(中2) いじめ防止サミット 修学旅行	ネットマナー 訪問マナー	
		中 よわむし太郎(私)	2 ネット将棋(私)			
		高 うばわれた自由(私)	3 忘れていた手紙(学)			
8月				中学校区で系統性意識した授業づくりを 検討したり、教材研究したりすることができます。		
9月	小1-(2) 勤勉努力 勤勉・粘り強さ 希望・勇気・努力 中1-(2) 強い意志	低 小さなどろのつかさね(私) —二宮金次郎—	1 本箱の...	陸上壮行会 陸上競技会(小) 運動会(小) 持久走大会	いつも前向きに	
		中 きっとできる(私)	2 火影-照明デザイナー-石井幹子の挑戦(学)			
		高 ヘレンと共に —アニー・サリバン—(私)	3 よし、かかってこい！(学)			
10月	小2-(3) 友情・信頼、助け合い 中2-(3) 信頼・友情	低 およげないりさん(私)	1 吾一と京造(学)	小中合同あいさつ運動 歌詠祭(中) あいさつ運動 入学式		
		中 同じ仲間だから(私)	2 逢うんだよ、健司(読み物資料)			
		高 知らない間の出来事(私)	3 植生の宿(東書)			
11月	小2-(2) 思いやり・親切 中2-(2) 人間愛	低 はしのうえのおかみ(私)	1 ☆旗(あ)	守小まつり・GOGO郷州 市内小中音楽会 母校訪問 校外学習(中2) 持久走大会	傘かしげ 席ゆすり 気配り言葉 あったかしくさ 思いやり歩き	
		中 心と心のあく手(私)	2 軽いやさしさ(あ)			
		高 ☆最後のおり物(私)	3 流れ星(東書)			
12月	小1-(4) 正直・明朗 誠実・明朗 中1-(3) 自主自律・誠実・責任	低 お月さまとコロ(私)	1 増えた塩ます(東書)	大掃除生徒会役員選挙(中)	あったか言葉	
		中 六セント半のおつり(私)	2 金語楼さんのこと(東書)			
		高 見えた答案(東書)	3 「道程」との出会い(東書)			
1月	2-(1) 礼儀	低 たびに出て(私)	1 朝市の「おはようございます」(東書)	新入生説明会	目は心の窓 あいづちしぐさ ごめんね返し 足組みしぐさ とうせんばしぐさ	
		中 「ありがとう」の言葉(東書)	2 ひとこと力(東書)			
		高 江戸しぐさ(東書)	3 一枚のはがき(学)			
2月	2-(4) 感謝 2-(5) 尊敬・感謝 2-(6) 尊敬・感謝	低 でんしゃのトリー(東書)	1 淳子ちゃん、ありがとう(学)	児童集会 クラブ見学 スキー学習(中1) 卒業式	ありがとう	
		中 しょうぼうだんのおじさん(東書)	2 少年の親切はいくら(学)			
		高 黄熱病とのたたかい(私)	3 「ありがとう」と言われる自分に、言える自分に(学)			
3月	小4-(4) 愛校心 小4-(6) 愛校心 中4-(7) 愛校心	低 六つとんがりのある校しゅう (東書)	1 玄さん(学)	大掃除 卒業生を送る会 卒業式 修了式 守小まつり・GOGO郷州 歌詠祭	学び習う	
		中 みんな待っているよ(私)	2 伝説で終わることなく伝説に(学)			
		高 せんぱいの心を受けついで(東書)	3 心がひとつに(あ)			

表中略称：(私)「わたし(私)たちの道徳」、(あ)あかつき、(学)学研、(正)正進社、(東書)東京書籍、(文)文芸堂

○ 守谷市中学校区道徳教育計画 (けやき台中学校区)

守谷市		けやき台中学校区 道徳教育計画			平成27年度	
守谷市		「共に生きる」				
道徳教育目標		思いやりの心を持ち、個性を尊重し合いながらよりよい生き方を目指すことのできる児童生徒の育成				
中学校区		思いやりの心をもって、互いを尊重し、協力し合える児童生徒の育成				
道徳教育目標		○人間としての生き方についての自覚を持つ。(けやき) ○自主・自律の精神を重んじ、規律ある生活ができる。(けやき) ○自他の生命を大切に、思いやりの心を持つ。(けやき) ○全ての教育活動の中で一人一人の持つ道徳性や人間性を涵養し、豊かな心を育成する。(高野) ○自分の目標に向かって、粘り強くやり抜く子を育てる。(松ヶ丘) ○命を大切に、自分も他者も大切にできる子を育てる。(松ヶ丘) ○規範意識のある子を育てる。(松ヶ丘)				
各校						
道徳教育目標						
実施月と重点事業		重点	小 学 校	中 学 校	守谷しぐさとの関連	行事との関連
1学期		基本的な生活習慣 1-(1)	低 べんきょうがはじまりますよ(1東書) 中 るっべ どうしたの(2私) 高 少しだけなら(3私) 目覚まし時計(4光・東書) なれなかったリレーの選手(5光) 散らかし魔(6東書)	1 朝のうた(学) 2 たゆまぬユーモアは頑健な体をしめし(学) 3 りんごの何を食べるのか(あ)	②あじみそ運動 ⑦あいつちしぐさ	始業式 入学式 避難訓練(け) 家庭訪問(け)
		★規則尊重・公徳心 4-(1)	低 みんながこまるよ(1光) 黄色い ベンチ(2私) 中 きまりじゃないか(3東書) 雨のバス停留所(4私) マイルール(5光) 高 きまりは何のために(6私)	1 傘の下(学) 2 許さない心(東書) 3 二通の手紙(私)	④時どろぼう ⑤思いやり歩き	避難訓練 運動会 交通安全教室(小中) 生徒総会(け) 修学旅行(け) ケータイ安全教室(け)
		★善悪の判断・勇気・ 自主自立・誠実・責任 1-(3)	低 ぼんたとかんた(1私) 中 やっばりやめよう(2光) 高 よむむし太郎(3私) コンビニエンスストア(4光) うばわれた自由(5私) インターネットの落とし穴(6光)	1 裏庭のできごと(学) 2 ネット将棋(私) 3 ウサギ(あ)	⑨ネットマナー	小中合同あいさつ運動(小中合同) 薬物乱用防止教室(け)
		大生命尊重 3-(1)	低 ハムスターの 赤ちゃん(1私) 中 がんばれアヌーラ(2光) 高 健ちゃんをたすける(3東書) ヒキガエルとロバ(4私) 命がないと始まる(5東書) 最後の一票(6光)	1 おばれかけた兄妹(学) 2 ブラック・ジャック 二人の悪い医者(学) 3 キミはあちゃんの糖(私)		学びの広場(小中合同)
8月						いじめ防止フォーラム
2学期		★思いやり・親切 2-(2)	低 はしの上のおおきみ(1私) 中 まわりをよく見てね(2光) 高 やさしい人大きくせん(3東書) 何かお手伝いできることはあるか？(4東書) 「オトちゃんルール」は「あたしルール」のルール(5東書) 車いすでの経験から(6東書)	1 淳子ちゃん、ありがとう(学) 2 心に寄りそう(東書) 3 月明かりで見送った夜汽車(あ)	⑩打てば響く	体育祭(け)
		信頼友情・男女協力 2-(3)	低 おやけなりすさん(1私) 中 たけしんのぼうし(2光) 高 なかよしだから(3東書) 泣いた赤おに(4光) 心のレシーブ(5東書) 知らない間の出来事(6私)	1 心のつながり(学) 2 あるピエロの物語(学) 3 アキラのケータイ(あ)	⑦あいつちしぐさ ⑧あったか言葉	市陸上競技会 小中合同あいさつ運動(小中合同) 文化祭(け)
		★規則尊重・公徳心 4-(1)	低 みんなのボール(1東書) 中 どうしてそうなの(2光) 黄色いかさ(3東書) 高 このまにしていたら(4光) 駄菓子屋の前の歩道(5光) ここを走れば(6光)	1 選手に選ばれて(東書) 2 昼休みの自由(学) 3 招集通知(あ)	⑥学び合う	赤っ腹まつり(高) 松ヶ丘まつり(松) 市音楽会 校外学習(け) 小学生部活動体験(小中合同) 母校訪問(小中合同)
		郷土愛 低・中4-(5) 高4-(7) 中4-(8)	低 ももまつり(1東書) 中 ぼくのはっけんコース(2光) 高 祭りだいご(3光) わたしの町のこと(4光) これも、日本人のすがた(5光) 近代化への道―流沢集―(6光)	1 五色桜(学) 2 田舎え踊り(学) 3 ようこそ「やねせん」へ(あ)		芸術鑑賞(高) 大掃除 終業式
3学期		礼儀 2-(1)	低 たびに出て(1私) 中 あいさつつてふしぎ(2光) 高 あいさつ名人(3光) 雪の一本道(4光) 本当のあいさつ(5光) 江戸しぐさ(6東書)	1 あいさつについて(学) 2 ありがとう(学) 3 おはようございます(あ)	⑤訪問マナー ⑩傘かしげ	始業式 情報モラル教室(高) スキー学習(け) 新入生説明会
		感謝 低・中2-(4) 高2-(5) 中2-(6)	低 でんしゃのトリー(1東書) 中 きょうは、どうしたのかな(2光) 高 ありがとうの気持ちをこめて(3光) 消防団のおじさん(4東書) あと三十分おくれたら(5光) 土石流の中で救われた命(6東書)	1 「ありがとう」に出会いたくて(学) 2 少年の親切はいくらか(学) 3 帰郷(私)	⑭ありがとう ⑯あったかしぐさ	小中合同あいさつ運動(小中合同)
		★思いやり 2-(2)	低 ぼくのはなさいたけど(1東書) 中 ぐみの木と小鳥(2光) 高 六べえとちよ(3東書) ボロいっしょ(4東書) 運動会の弁当(5光) 心に通じた「どうぞ」のひとこと(6東書)	1 心をつなぐバス(東書) 2 伝言板(学) 3 あふれる愛(東書)	⑮席ゆずり	6年を送る会 3年生を送る会(け) 卒業式
表中路線(私)「わたし(私)たちの道徳」(あ)あかつき (日文)日本文教出版 (学)学研 (正)正通社 (東書)東京書籍 (文)文芸春秋 (米)米村図書						

教中略称：(私)「わたし(私)たちの道徳」、(あ)あかつき、(日)日本文芸出版、(学)学研、(正)正通社、(東書)東京書籍、(文)文芸春秋、(光)光村図書

守谷市		守谷中学校区 道徳教育計画		平成27年度	
守谷市 道徳教育目標	思いやりの心を持ち、個性を尊重し合いながらよりよい生き方を目指すことのできる児童生徒の育成				
中学校区 道徳教育目標	思いやりの心を持ち、自他の個性を尊重し合いながらよりよく生きようとする児童生徒の育成				
各校 道徳教育目標	(小) 思いやりの心を持ち、互いに認め合いながら共によりよく生きようとする児童の育成 【黒内小】○目標の実現に向かって、主体的に努力する態度を育てる。 ○節度ある生活に努め、相手を温かく思いやり、助け合う心情を育てる。 ○健康・安全に気を付け、最後までがんばりぬぐ強い意志を育てる。 【大野小】○基本的な生活習慣や社会性を身に付け、進んで活動する子どもを育てる。 ○思いやりと自他の生命を大切にすることをもち、よりよく生きようとする子どもを育てる。 ○自己理解を深め、集団生活におけるよりよい人間関係を築くことのできる子どもを育てる。 (中) 思いやりの心を持ち、自他の個性を尊重し合いながら人間としてよりよく生きようとする生徒の育成 【守谷中】○自他の生命を尊重し、他を思いやる心を育てる。 ○自ら考え、共に学び、積極的に社会に貢献する態度を養う。 ○自然を愛し、美しいものや崇高なものに感動する心を育てる。				
実施月と重点事業	重点	小学校	中学校	特別活動との関連	守谷しぐさとの関連
4月	1-(1) 生活習慣	低 るっべどうしたの(私)	1 釣りざおの思い出(学研)	入学式(小中)	あじみそ運動
		中 少しだけなら(私)	2 たゆまぬユーモアは頑張る体をしぐさ(学研)	身体測定	
		高 ヘレンと共にアニーサリバン(私)	3 人に迷惑をかけないということ(学研)		
5月	2-(3) 信頼、友情	低 およげないリスさん(私)	1 心のつながり(学研)	運動会(小)	あったか言葉
		中 同じ仲間だから(私)	2 あるピエロの物語(学研)		ごめんね返し
		高 知らない間の出来事(私)	3 友情切符(学研)		
6月	4-(1) 約束やきまり、公徳心	低 黄色いベンチ(私)	1 オーストリアのマス川(学研)	市・県南体育大会(中)	とうせんぼしぐさ
		中 雨のバス停留所(私)	2 昼休みの自由(学研)	遠足	ネットマナー
		高 きまりは何のために(私)	3 二通の手紙(私)		
7月	4-(3)(5)(6) 家族愛	低 家族の役に立つことを(私)	1 何だっていいんだ(学研)	学びの広場(小)	
		中 ブラッドレーのせい求書(私)	2 一冊のノート(私)	大掃除	
		高 家族の幸せを求めて(私)	3 母よりの年賀状(学研)		
8月				いじめフォーラム	
9月	4-(2)(4)(5) 勤労、奉仕	低 森のゆうびんやさん(私)	1 自然な笑顔のままで(学研)	PTA奉仕活動	
		中 働くことの大切さを知って(私)	2 わたし、あなたそしてみんな(学研)		
		高 公共のために役立つことを(私)	3 蔭のとう(学研)		
10月	1-(4)(5)(6) 個性の伸長	低 お月さまとコロ(私)	1 世界に一つだけの花(学研)	マナーキャンペーン(小中)	
		中 うれしく思えた日から(私)	2 父の仕事(学研)	市陸上競技大会(小)	
		高 短所を改め、長所をのびして(私)	3 まるごと好きです(学研)	松風祭(中)	
11月	2-(2) 思いやり	低 はしの上のおおかみ(私)	1 涼風(学研)	黒内祭り(小)	気配りぐさ
		中 心と心のあく手(私)	2 伝言板(学研)	収穫祭(小)	思いやり歩き
		高 最後のおくり物(私)	3 タクミ君大いに揺れる！(学研)		傘かけしぐさ・席ゆすり
12月	3-(1) 生命尊重	低 ハムスターの赤ちゃん(私)	1 キミばあちゃんの椿(私)	人権週間(小・中)	
		中 ヒキガエルとロバ(私)	2 ブラックジャック(学研)		
		高 かけがえのない命(私)	3 お母さんへ(学研)		
1月	2-(1) 礼儀	低 たびに出て(私)	1 あいさつについて(学研)	新入生説明会	目は心の窓・足組みぐさ
		中 だれに対してもまごころをもって(私)	2 ありがとう(学研)		あいづちしぐさ
		高 礼儀正しく真心をもって(私)	3 一枚のはがき(学研)		訪問マナー
2月	2-(4)(5)(6) 尊敬、感謝	低 おせわになっている人にかんしゃして(私)	1 「ありがとう」に出会いたくて(学研)		ありがとう
		中 そんなけいと感謝の気持ちをもって(私)	2 ベルナと暮らした(学研)		あったかしぐさ
		高 黄熱病とのたたかい(私)	3 命の力のおすそわけ(学研)		
3月	4-(4)(6)(7) 愛校心	低 学校の生活を楽しく(私)	1 玄さん(学研)	卒業生を送る会(小中)	学び習う
		中 みんな待っているよ(私)	2 伝説で終わることなく伝説に(学研)	卒業式(小中)	
		高 より良い校風を求めて(私)	3 校門を掘る子(学研)		

表中略称：(私)「わたし(私)たちの道徳」、(あ)あかつき、(日)日本文芸出版、(学)学研、(正)正進社、(東)東京書籍、(文)文芸堂

○ 守谷市中学校区道徳教育計画 (御所ヶ丘中学校区)

守谷市 御所ヶ丘 中学校区 道徳教育計画 平成27年度					
守谷市 道徳教育目標	「共に生きる」思いやりの心を持ち、個性を尊重し合いながらより良い生き方を目指すことのできる児童生徒の育成				
中学校区 道徳教育目標	失敗にくじけず一歩一歩努力できる児童・生徒の育成				
各校 道徳教育目標	御所ヶ丘小学校:深く考えて、自分自身を見つめ、問題解決に向かって努力することができる児童の育成 大井沢小学校:自律心と謙虚な心を持ち、失敗をおそれずに努力できる児童の育成 松前台小学校:思いやりの心と強い意志をもって、自ら考え判断して行動できる児童の育成 御所ヶ丘中学校:主体的に考え行動し、よりよい生き方を追求する生徒の育成				
実施月と重点事業	重点	小 学 校	中 学 校	特別活動との関連	守谷しぐさとの関連
4月	基本的生活習慣	低 るっべどうしたの(私) りすのちよらた(文2) 中 金色の魚(私) 金色の魚(文3) 高 百ジャアのふたごしまい(日5) もったいないを世界共通の言葉に(私)	1 朝の歌(学) 2 なみきぬユーモアは暗闇な体毛しのか(学) 3 人に迷惑をかけないということ(学)	始業式・入学式 新入生を迎える会 身体測定・健康診断 授業参観・懇談会	あじみそ運動
5月	信頼・友情 男女協力	低 およけなりすさん(私) 森のともだち(東2) 中 ないた赤おに(文3) 絵はがきと切手(文4) 心のレシーブ(東5) 知らない間の出来事(私)	1 キャッチボール(学) 2 二通の手紙(私) 3 鳩が飛び立つ日(私)	(小)運動会・(中)体育祭 避難訓練・(小)里山の田 植え (中)修学旅行・中間テスト 生徒総会	
6月	善悪の判断・勇気 自由・自律・責任	低 ぼんたとかんた(私) モチモチの木(文2) 中 よわむし太郎(私) よわむし太郎(文4) 高 こんな人を捜せ!ピンゴ!(日5) うばわれた自由(私)	1 裏庭のできごと(あ) 2 金脂様さんのこと(東) 3 ネット将棋(私)	(中)市総体・吹奏楽部演 奏会 (中)期末テスト プール開き	ネットマナー
7月	尊敬・感謝	低 ありがとう(東1) 自分しんごうきに(日2) 中 あの日のこと(文3) 高 ありがとう上手に(東書5) 賞賛病との戦い(私)	1 人のフリ見て(東) 2 バスに乗って(東) 3 帰郷(私)	大掃除・終業式 学びの広場 保護者面談、家庭訪問	ありがとう
8月					
9月	生命尊重	低 みがめの赤ちゃん(文1) ハムスターの赤ちゃん(私) 中 あなたがもつ生きる力(文4) ヒキガエルとロバ(私) 高 涙そうそう(日6) その思いを受けついで(私)	1 大津波を生き抜いた 184人の子供たち(日) 2 ブラックジャック 二人の黒い医者(学) 3 きみはあちゃんの椿(私)	始業式・引き渡し訓練 (小)里山の稲刈り (中)生徒会役員選挙 2年校外学習、市新	
10月	規則尊重・公徳心	低 うさぎのえんそく(東1) おじさんの手紙(文2) 中 雨のバス停留所で(私) 雨のバス停留所で(文4) 高 星野君の二重打(東5) 決まりは何のために(私)	1 ちいちゃんのつめ(東) 2 自分だけ「余り」になってしまう...(日) 3 友情(日)	陸上競技会 (小)就学時健康診断 市民スポーツフェスティ バル	傘かしげ 席ゆすり とうせんぼしぐさ ふれあいしぐさ
11月	勤勉・努力	低 こぐまのらっば(東1) なおみさんは花だんがかり(文2) 中 きっとできるー高橋尚子(私) 医学の道へ進みたいー野口英世(文3) 高 ハチドリのはたとしずく(東) 夢に近づき(内村航平)(私)	1 ハチドリのはたとしずく(東) 2 あきらめないで(正) 3 高く遠い夢(東)	市芸術祭 市音楽会 小中合同あいさつ運動 母校ボランティア (中)期末テスト、三者面談	いつも前向きに
12月	役割と責任の自覚	低 わたしのしごと(東1) 森のゆうびんやさん(東2) 中 お母さんとの約束(文4) 高 かれてしまったヒマワリ(東5) 小川笠船(私)	1 席替え(東) 2 できること・できないこと、 そして接し方(日文) 3 ナイスパス(正)	(小)持久走大会 大掃除・終業式	
1月	礼儀	低 かめさんありがとう(学1) あいさつがきらいな王さま(学2) 中 言葉のまほう(文3) 高 お母さんとの約束(文4) 江戸しぐさに学ぼう(私)	1 どうも(日) 2 “いき”な江戸しぐさ(日文) 3 一枚のはがき(学)	始業式・書き初め・県学診 (中)新入生説明会 (中)3年学年末テスト 1年スキー学習	時どろぼう 訪問マナー あいづちしぐさ 足組みしぐさ
2月	勤勉・努力	低 小さなじいのつみかきね〜二宮金次郎〜(私) 高 ぼくは「のび太」でした(東2) 中 二重とびチャンピオン(文3) 運動オンチのオリンピック(文4) 高 断字の書を求めて(日6) ヘレンと共に〜アニー・サリバン〜(私)	1 楽しみながら土台を作るー澤穂希ー 2 未来へのメッセージ(日) 3 ボクは新人(学)	(小)なわとび集会 (中)学年末テスト 学年末PTA	
3月	尊敬・感謝	低 おじさんになやてるの(東1) きつねとぶどう(文2) 中 だがし屋のおばあちゃん(文4) 高 土石流の中で救われる命(東書) 松下幸之助(私)	1 春樹が朝、目覚めて考えたこと(正) 2 少年の親切はいくらか(学) 3 フィギアスケーターの僕が 今できることー羽生結弦(日)	(小)二分の一人入式(2 月) 卒業生を送る会・大掃除 修了式・卒業式・離任式 (中)県立入試	あったかしぐさ

(3) 御所ヶ丘中学校区道徳提案授業（小中合同道徳授業）

御所ヶ丘中学校 第1学年6組・御所ヶ丘小学校 第5学年2組 道徳学習指導案

指導者 T1 木村 勇 T2 風見 恵子
T3 豊嶋 なつみ T4 大堀 玲子
T5 向井 浩恵

- 1 主 題 【中学校】 着実にやりぬく意志（内容項目 1－（2）希望・勇気・強い意志）
【小学校】 努力することの大切さ（内容項目 1－（2）希望・勇気・努力）
- 2 資料名 『ハチドリのひとしずくーいま、私にできること』（出典 光文社）
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

① 中学校

内容項目1－（2）は、主として自分自身に関することで「より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。」ことをねらいとしている。これは御所ヶ丘中学校区の児童生徒の実態を踏まえ、中学校区道徳教育目標の重点として設定しているものである。

中学生になり、さまざまな集団に属して生活している生徒にとって、日常生活や学習、部活動などで目標をもち、努力を続けることは今後の人生においても大きな財産となるであろう。しかし一方で、努力が成果に結びつく物事について地道に努力しようとするが、目標を達成するまでに失敗や困難が伴うような物事については、進んで取り組もうとしない傾向も見られる。

失敗や困難にくじけずに最後まで立ち向かい、それらを乗り越えられたときに感じられる充実感は何ものにも代え難いものである。また、目標を達成したときの達成感や成成感希望と勇気につながり、人生を切り拓いていく原動力となる。このことから、困難な状況にあっても自分で決めた目標に向かって最後まで着実にやり遂げる強い意志を育みたいと考え、本主題を設定した。

② 小学校

内容項目1－（2）は、主として自分自身に関することで、「より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。」ことをねらいとしている。これは、御所ヶ丘中学校区の児童生徒の実態を踏まえ、中学校区道徳教育目標の重点として設定しているものである。

高学年は、児童がそれぞれに高い理想を追い求める時期だといわれる。ある人物の生き方にあこがれたり、自分の夢や希望がふくらんだりする。同時に、自信がもてなかったり、夢と現実との違いを意識したりする時期でもある。このような時期であるからこそ、様々な生き方への関心を高めるとともに、より高い目標を立て、くじけずに希望と勇気をもって努力することの大切さに気付かせていく必要がある。それには、理想に向かって着実に前進していこうとする強い意志と実行力を育てていくことが求められる。

(2) 児童生徒の実態について

① 中学校

本学級は、部活動や習い事などに打ち込む生徒が多く、それぞれ夢や目標を持って取り組んでいる。中には日々家庭学習に取り組み、勉強に力を入れる生徒もいる。

<意識調査>

（平成26年9月2日実施 1年6組 31人）

- | |
|--|
| ① あなたは、勉強やスポーツ、習い事などで実現したい目標などがありますか。 |
| ある（ 25人 ） ない（ 6人 ） |
| ② その夢や目標に向かって、どんな努力をすればいいのか、わかっていますか。 |
| わかっている（ 24人 ） わかっていない（ 7人 ） |
| ③ その夢や目標に向かって、努力していることがありますか。 |
| ある（ 22人 ） ない（ 9人 ） |
| ④ ③で「ある」と答えた人に聞きます。その努力は、どのくらい続けていますか？ |
| 3ヶ月以内（ 7人 ） 3ヶ月から半年（ 2人 ） |
| 半年から1年間（ 3人 ） 1年から2年間（ 2人 ） |
| 2年から3年間（ 1人 ） 3年以上（ 7人 ） |

意識調査結果からは、多くの生徒が目標をもち、それに向かってどんな努力をすれば良いのかを考え、実行していることが分かる。また、実際に1年以上に渡って努力をし続けている生徒もいる。その反面、目標がもてなかったり、目標に向かってどんな努力をすればよいのかわからなかったりする生徒も少なくない。

日頃の実態を振り返ると、自分が正しいと思うことに対してやり遂げようとする意志が足りないため、つい楽な方に流れてしまう生徒も見られる。目標や理想をもっているものの、その目標に向かう道を具体化できている生徒は少なく、現状から一歩先に進むための実行力が伴っていないように見受けられる。

そこで本学級では、「困難な状況にあってもより高い目標を目指し、やり遂げようとする強い意志を持つことの大切さ」について考え、希望と勇気を持って着実にやりぬこうとする心情を育んでいく必要があると考える。

① 小学校

本学級は、素直でまじめな児童が多く、学校行事などに団結して取り組むことができる。また、お互いを気遣うことができる児童も多いので、孤立してしまう児童はいない。決められた仕事などは、まじめに取り組むことができる児童も多く、高学年として委員会活動などにしっかり取り組むことができている。

<意識調査>

(平成26年9月3日実施 5年2組30人)

- | |
|--|
| ① あなたには、勉強やスポーツ、習い事などで実現したい目標などがありますか。 |
| ある(26人) ない(4人) |
| ② その夢や目標に向かって、努力していることがありますか。 |
| ある(24人) ない(6人) |
| ③ ②で「ある」と答えた人に聞きます。その努力は、どのくらい続いていますか。 |
| 3ヶ月以内 (4人) 3ヶ月から半年間 (2人) |
| 半年から1年間 (1人) 1年から2年間 (3人) |
| 2年から3年間 (3人) 3年以上 (11人) |

以上の実態から、実現したい目標をもち、努力を続けているという児童が多くいることが分かった。しかし、日頃の実態を振り返ると、目標に向かって着実に前進していこうとする意志が弱く、実行力が伴っていない児童も見られる。頭では分かっている、つい楽な方に流れてしまい、自分が正しいと思うことに対して勇気をもって取り組むことができていない、などの傾向が挙げられる。

そこで本学級では「自分の決意を行動に移すことの尊さ」について考えさせ、くじけずに一歩一歩努力しようとする心情を育んでいく必要があると考える。

(3) 資料について(「ハチドリの一としく」 出典:東京書籍)

本資料は、『ハチドリの一としくーいま、私にできることー』という絵本である。森が焼け、そこに住む動物たちが我先にと逃げ出す中、クリキンディという名の小さなハチドリだけが、その小さなくちばしに水を含み、一滴、また一滴と焼ける森に水を落とし、消火しようとする姿を描いている。逃げ出した動物たちは、クリキンディのことを「そんなことをしていったい何になるんだ」と笑うが、その際のクリキンディの「わたしはわたしにできることをしているだけ」という言葉が胸に深く突き刺さる作品となっている。

このクリキンディの言葉が読み手の心を動かすのは、クリキンディの尊い生き方(大切な森を守るために、自分ができることを地道に続けていこうとする姿勢)が凝縮されているためであろう。この言葉から、ねらいとする価値「困難な状況にあってもより高い目標を目指し、やり遂げようとする強い意志を持つことの大切さ」、「より高い目標に向かって、勇気と希望をもってくじけずに努力すること」に迫るのにふさわしい資料であると考えられる。

本資料との出会いを通じて、困難な状況の中にあっても自分ができることを見つけ出し、立ち向かっていくことが「未来を変える原動力」になることに気づかせていきたい。

4 指導観

現在、守谷市で取り組んでいる保幼小中高一貫教育を踏まえ、道德の時間において効果的な小中乗り入れ授業はできないか検討していた際、『ハチドリのひとつく』という感動的な資料と出会った。本資料は、もともと絵本として出版されており、中学校の副読本（東京書籍、1～3年）にも掲載されている。そこで、小中それぞれの発達段階に応じた「ねらいとする価値」に迫ることができると考え、本資料を活用した授業を試みることにした。

この小中乗り入れ授業で期待されることは、小・中学生が、同一時間に共通題材で学ぶことを通して、道德的価値の自覚を一層深めることができるのではないかとすることである。

具体的には、① 経験や感じ方の違う小中学生が共に考え、話し合うことで表面的な意見交換に陥りがちな話し合いに一石を投じることになるのではないかと。つまり、互いに考えを磨き合い、発達段階に応じた道德的価値の自覚を深めることにつながるのではないかと。② 小学生が中学生の授業に参加することで、中学生の物事を多面的に捉える力を目のあたりにし、物事の見方・考え方を広げたり、深めたりすることができるのではないかと。などが挙げられる。

授業のねらいにせまるために最も工夫をしたのは、小中学校の教師合わせて5名でのITの形態とした点である。（小学6年時の担任及び事前に授業を行った5年生担任）。御所ヶ丘中学校は、3つの小学校から進学してきている。そこで本時の中心発問において、出身小学校ごとにグループを作り、それぞれに中学生と小学校教諭が入って話し合いを進めることにした。児童生徒は、小集団になることでより多くの考えに接することができ、他者理解や価値理解が深められることが考えられる。また、小学校教諭にとっては、卒業後の生徒の様子を間近で感じることができる貴重な機会となり、中学校教諭は、生徒の普段と違う一面を垣間見ることが期待できよう。

以下に乗り入れ授業の手順を示すこととする。

【ステップ1】 小学校5年生において、資料を「感動的活用」として扱った授業を実施する。

(11月20日)

※「感動的活用」…登場人物の生き方に深い感銘を受ける資料において、その感動を中心に授業を展開する。

<ねらい> クリキンディの言葉「私は私にできることをしているだけ」に、私たちはなぜ心が動かされるのかを考えることを通して、自分の決めたことを最後までやり遂げようとする尊い生き方を感じとり、目標に向かってくじけずに努力を続けようとする心情を育む。

【ステップ2】 中学校1年生の授業に小学校5年生及び小学校3校の旧担任が乗り入れる。資料を「範例的活用」として扱った授業を実施する。

(12月1日、本時)

※「範例的活用」…登場人物の行為を模範や教訓にできる資料において、その生き方を中心に授業を展開する。

中学生は、クリキンディはなぜ動物たちに笑われてもやめずに、ひとつくの水を運び続けたのかを話し合うことを通して、困難な状況にあってもより高い目標を目指し、やり遂げようとする強い意志を持つことの大切さに気付かせ、希望と勇気を持って揺るぎなく前進しようとする心情を育てていくことを目指す。

小学生は、クリキンディはなぜ動物たちに笑われてもやめずに、ひとつくの水を運び続けたのかを話し合うことを通して、困難にくじけずに努力し続けることの尊さに気付かせ、より高い目標に向かって希望と勇気をもって着実に前進しようとする心情を育てていくことを目指す。

御所ヶ丘小学校
5の2提案授業
(11月20日)



5 指導計画

(1) 中学校

事前	本時	事後
・短学活 アンケートによる生徒の実態調査を行う。 ・道徳 『私たちの道徳』 p.20 「この人に学ぶ松井秀喜の message」	・道徳『ハチドリのひとしずく』 ◎クリキンディはなぜ動物たちに笑われてもやめずに、ひとしずくの水を運び続けたのかを話し合う。	・道徳 『私たちの道徳』 p.19 を書く。 「人生の目標について」 ・道徳 郷土を愛する心 「提案します！わたしの町のキャラクター」(副読本) ・日常生活 ・学級通信を利用して、授業の様子や児童の発言を保護者に伝えたり、教室に掲示したりして意識を高めていく。

(2) 小学校

事前	本時	事後
・学活 『私たちの道徳』(p.18) 「今、あなたが描いている夢をかきましょう。」 ・道徳 『ハチドリのひとしずく』 ◎クリキンディの言葉「私は私にできることをしているだけ」に、なぜ心が動かされるのかを考える。	・道徳『ハチドリのひとしずく』 ◎クリキンディはなぜ動物たちに笑われてもやめずに、ひとしずくの水を運び続けたのかを話し合う。	・道徳 郷土を愛する心 「わたしたちの町って」(副読本) ・日常生活 ・学級通信を利用して、授業の様子や児童の発言を保護者に伝えたり、教室に掲示したりして意識を高めていく。

6 本時の学習

(1) 目標

① 中学校

クリキンディはなぜ動物たちに笑われてもやめずに、ひとしずくの水を運び続けたのかを話し合うことを通して、困難な状況にあってもくじけず希望と勇気をもって取り組むことの価値に気づき、目標に向かって着実に前進していこうとする心情を高める。

② 小学校

クリキンディはなぜ動物たちに笑われてもやめずに、ひとしずくの水を運び続けたのかを中学生と話し合うことを通して、困難な状況の中にあっても、自分の決意を行動に移し、努力をつづけることの尊さを感じ取り、目標に向かって努力していこうとする心情を高める。

(2) 準備

- ・『ハチドリのひとしずく』絵本
- ・電子黒板
- ・ハチドリの模型
- ・ひとしずくの模型
- ・ワークシート(道徳ノートとして積み重ねる)
- ・ホワイトボード(移動式)
- ・御所小で行った授業の板書
- ・小学生が学んだことの記録(掲示)



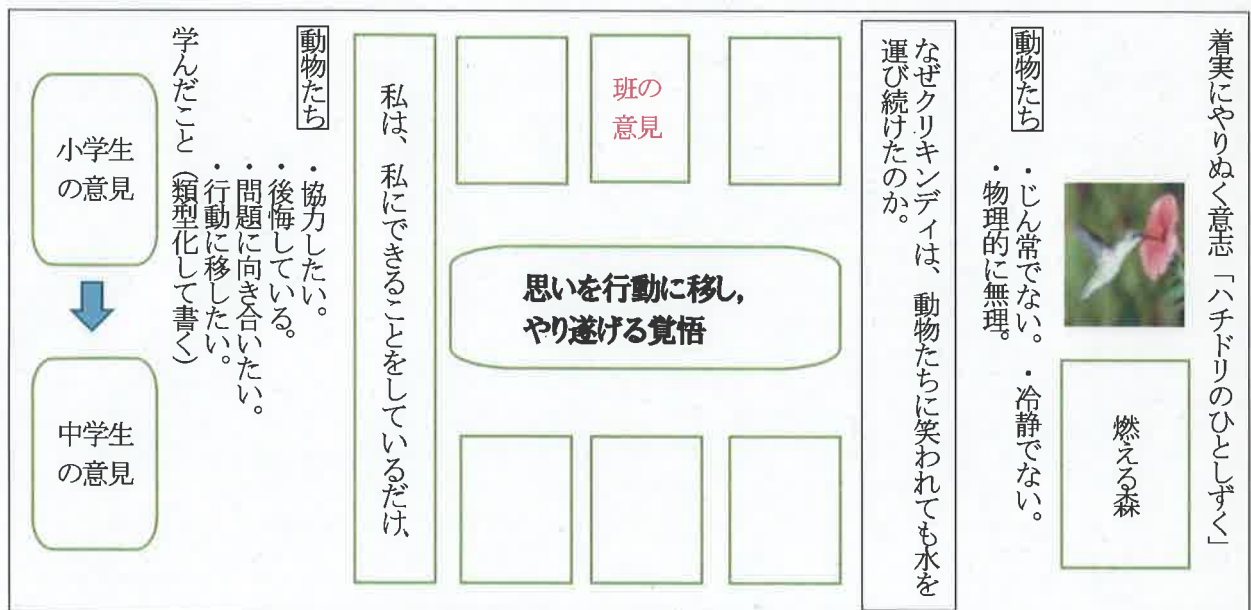
御所中学校区
小中合同道徳
授業(12月1日)

(3) 展 開

時間 (分)	主な活動と発問	予想される生徒の反応	教師の支援及び留意点○, 評価● 下線…小学生への支援
5	1 今日の資料に登場する「ハチドリ」とは、どんな鳥なのかについて知る。	(中学生) ・聞いたことはあるがよく知らない。 ・見たことがない。 (小学生) ・ハチのように小さな鳥。 ・珍しい鳥です。 ・お話に出てきた鳥の名はクリキンディでした。	○ 黒板 (ホワイトボード) を横にして、小学生と中学生が向き合う隊形をとり、声が届きやすいようにする。 ○ 小学生は中学生に「ハチドリ」について教えるよう促し、あたたかい雰囲気の中で資料の世界へ入ることができるようにしたい。 ○ 資料名を板書し、ハチドリの実際の大きさが実感できるよう、実物大を示す。(T3)
	2 資料『ハチドリのひとしずく』を範読する。		○ 絵本を読み聞かせる (T2)。 電子黒板に本文を写し出す (T1)。 ○ 森が燃えている様子を視覚的に伝え、状況をよく把握させる (T1)。
5	3 小・中学生が共に意見を交流し、気付きを深めていく。 ○ <u>動物たちは、なぜクリキンディの行動を笑ったのでしょうか。</u>	・たった一羽で大火に立ち向かう姿が、尋常ではないと思ったから。 ・冷静な判断ができていないと思ったから。 ・数滴の水を落としただけでは、物理的に消すことは無理だから。	○ 前回の授業で、小学生が動物たちの言動と気持ちが気になっていたことを取り上げる ○ クリキンディの思いまで考えず、行動だけを見て笑っていることを押さえる。 ○ <u>中学生の意見を中心に聞き、小学生には、中学生の意見に対する考えを発言するよう促す (T2)。</u>
30	◎ <u>クリキンディは、なぜ動物たちに笑われてもやめずに、水のしずくを運び続けたのでしょうか。</u> (1) 個人で考え、ワークシートに記入する。 (2) ペア・グループになって話し合う。 (3) グループの話し合いをもとに全体で話し合う。	・何もせずに、ふるさとの森が燃えているのを見てはいられないから。 ・無駄に見えても、続けていれば何かが変わるかもしれないと思ったから。 ・自分で決めたことだから。 ・少しずつでも積み重ねていけば、大きな力になることもある、と考えたから。	○ 自分の考えをまとめてからグループにすることで、発言への抵抗を減らせるよう配慮する。 Aグループ: 御所ヶ丘小 (T3) Bグループ: 松前台小 (T4) Cグループ: 大井沢小 (T5) ○ グループ内で中学生と小学生のペアをつくり、なぜそう考えたのかを中学生が小学生に丁寧に聞くように促す。
	私は、私にできることをしているだけ ○ この言葉を聞いた動物たちは何を思ったでしょう。	・自分でできることをするという「実行力」が大切だ。 ・自分は何もしないであきらめてしまっているのか。 ・みんなで協力すれば、事態が変わるかもしれない。	○ T1に司会を移し、各グループのホワイトボードを掲示し、テーマに沿って話し合う。 ○ 「私は、私にできることをしているだけ」と書かれた紙を、黒板の中央に掲示する。(T1) ○ この言葉によって動物たちの心は変わったかについて尋ね、変わ

		・問題と向き合って「わたしにできること」を考えていかななくては。	ったと思う児童・生徒の意見を中心に聞いていく。(T1・T2) ○ 小学生には、前時の学びを振り返り、「私は私にできることをしているだけ」という言葉が心に響いたのはなぜか考えさせる。
5	○ クリキンディの言葉から <u>あなたは何を学びましたか。</u>	・どんな困難な状況でも自分にできることが必ずある。自分を信じて努力したい。 ・あきらめないことで少しでも未来を変えることができるかも知れないと思った。 ・自分の努力する姿が、誰かに影響を与えることがあるかもしれないと思えた。	●【中学校】 クリキンディの行動や言葉から、困難な状況の中にあっても、くじけずに希望と勇気をもって取り組み、理想に向かって着実に前進していこうとする心情が高まっている。(観察・ワークシート) ●【小学生】 クリキンディの行動や言葉から、困難な状況の中にあっても、自分の決意を行動に移すことの尊さを感じ取り、自分も努力しようとする心情をもつことができている。(観察・ワークシート)
5	4 教師の説話を聞く。 (当日はT2～T5から御所中生へ手紙が渡された。)		○ T3・T4・T5が交流を通して深まっていた児童生徒の気付きについて伝えたり、小学校の時に取り組んできたことなどを紹介したりする。

(4) 板書計画



(5) 授業の成果と課題（御所ヶ丘中学校区授業者の反省と研究協議で出だされた意見から）

① 道徳の時間のねらいに迫るための成果と課題

<成果>

- ・ アンケート結果から目指す児童像の共通理解ができたので、資料を厳選することができた。
- ・ 『ハチドリのひとつく』を通して中学校区の重点項目を意識し、長期にわたって指導していく体制をつくることができた。
- ・ 4校の道徳推進委員+授業者3名での打合せを何度も持った。全員が前向きに教材研究の話し合いに参加した。小中の共通理解が進み「チーム御所中学校区」という意識が高まった。毎回、充実した時間を過ごすことができた。



<課題>

- ・ 『ハチドリのひとつく』は、内容項目を『人間の弱さの克服 中学校3-（3）』や『郷土愛 中学校4-（8）小学校4-（7）』とすることもできる。どの内容項目を重点とするか、中心発問をどのように設定するか、授業者がしっかり教材研究し、吟味する必要がある。
- ・ グループでの話し合いでは、ワークシートに書いた考えを伝え合ったが、それについて互いに感想を交流するにとどまっていた。話し合いを通して道徳のねらいに迫るためには、小学生には小学生の、中学生には中学生の「話し合いで深めていく視点」＝「何のために話し合うのか」を提示することが大切だと感じた。

② 小中乗り入れ型道徳授業としての成果と課題

<成果>

- ・ 小中とも、児童の実態を良く分かっている担任が話し合いに参加したので、児童・生徒の反応を想像しながら展開を考えることができた。
- ・ 授業後の中学生のワークシートは、出身校の小学校教諭が持ち帰り、コメントを書いて中学校に戻した。小学校の元担任は、教え子の心の成長を直に感じることができ、また、中学生は、卒業した後も小学校と中学校の教員が連携して見守っていることを感じてくれたのではないだろうか。



<課題>

- ・ 「考えを深めていく」授業である場合、活発な意見交流が全てではなく、ねらいに即した交流の方法があったはずである。「学び合い」の形態に終始せず、「質」を高める方法を考える必要がある。（異学年が共に学ぶ合同授業を通しての中学生のメリット、小学生のメリットを十分に検討していく。）
- ・ 3学期にも中学校の残りのクラスで実践していく予定だったが、現実的には予定が合わず、実践できなかった。次年度は「中学校区道徳教育計画」と各校の別葉を生かし、合同授業に限らず、「いつ・何で（教科・領域）・どうやって」行う道徳授業が理想的かを考えていく必要がある。

③ 今回の授業を今後につなげていくために

- ・ 合同授業では、教務主任をはじめ「小中一貫コーディネーター」との連携（報告・連絡・相談）が欠かせないと痛感した。今回の授業を支えてくださった各校の関係各位に深く感謝いたします。
- ・ 中学生が小学校の授業に乗り入れることを検討してはどうか。
- ・ 御所ヶ丘中学校では、インクルーシブ教育を充実させて行くために道徳教育をより意識していきたいとの提案があった。
- ・ 読み物資料を大切にしつつ、多様な資料（『私たちの道徳』、視聴覚教材、郷土資料など）を取り上げ、道徳の時間のねらいに迫り、子どもたちの道徳性を育てていくことを今後検討していきたい。
- ・ 道徳教育委員は各校の道徳教育を中心となって進めて行く役割を担っている。新たな道徳授業の在り方を模索すると同時に、推進委員会で何度も取り上げられた「道徳の授業で何を大切にすべきか（何を必要はないのか）」を校内研修で伝達していく必要がある。